2025年4月30日

各 位

株式会社八十二銀行

手形・小切手の全面的な電子化に向けた対応について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、手形・小切手の全面的な電子化の一環として、下記の対応を実施いたします。当行では、2026年度末までの手形・小切手の全面電子化に向けて、全国銀行協会の自主行動計画に則り、政府・産業界と一丸となり、一層のサービス向上に努めてまいります。

記

1. 背景

2021年6月に閣議決定された政府の「成長戦略実行計画」では、「5年後の約束手形利用の廃止・小切手の全面的な電子化」が盛り込まれました。これを受け、全国銀行協会は「2026年度末までに電子交換所における手形・小切手の交換枚数をゼロにすること」を目標とする自主行動計画※を策定しています。

本対応は、こうした背景を踏まえ、手形・小切手の全面的な電子化に向けた取り組みの一環として実施するものです。

2. 実施内容

（1）当座預金の新規口座開設の受付終了

当座預金の新規口座開設について、以下の日付をもって受付を終了させていただきます。

受付終了日：2025年12月30日（火）

2026年1月5日以降、事業性資金にかかる新たな預金口座の開設を希望される場合は、「普通預金」または「無利息普通預金」をご利用ください。

なお、すでに当座預金口座をお持ちのお客さまは、引き続きご利用いただけます。

（2）2027年4月1日以降を期日とする手形・小切手の代金取立の事前受付終了

これまで期日まで長期となる手形・小切手についても事前受付をしておりましたが、以下の日付をもって該当の手形・小切手の代金取立の事前受付を終了させていただきます。

受付終了日：2026年3月31日（火）

該当の手形・小切手をお持ちのお客さまは2026年3月31日までにお取引店へお持ち込みください。

なお、2026年4月1日以降に該当の手形・小切手を受け取られた場合は、期日の1ヵ月前から7営業日前の間にお取引店にお持込みいただきますようお願い申し上げます。

3. 手形帳・小切手帳の発行終了について再度のお知らせ

2024年3月にお知らせ致しました通り、2025年5月30日時点で当座預金をお持ちのお客さま、また、同日以降に当座預金を新たに開設されるお客さまについて、同日をもちまして手形帳・小切手帳の発行を終了させていただきます。

※ 約束手形（連続手形用紙を含む）、為替手形、小切手、自己宛小切手の製本冊子単位・枚数単位のすべての手形・小切手用紙、署名鑑印サービスを取扱終了の対象とさせていただきます。

※ 発行終了日時点で保有されているお手元の手形・小切手につきましては、発行終了日以降も引き続きご利用いただけます。

※ 八十二銀行と長野銀行が合併する 2026 年 1 月 1 日以降も、旧行名の手形・小切手は引き続きご利用いただけます。また、合併前に振り出された旧行名の手形・小切手もこれまでと同様に決済されます。

4. 電子化に向けたサービスのご案内

手形・小切手を電子化することで、現物紛失リスクの低減、押印・発送・保管等の事務負担の軽減、印紙代等のコスト削減など、様々なメリットがございます。

手形・小切手をご利用のお客さまは、八十二「法人向インターネットバンキング」ネットEBによる振込や八十二<でんさい>サービス※といった電子決済手段への移行をご検討いただきますようお願い申し上げます。

※ 全国銀行協会策定の自主行動計画の詳細については、下記 URL をご覧ください。

<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/council/tegata-denshi/>

※ 八十二<でんさい>サービスについては、下記 URL をご覧ください。

<https://www.82bank.co.jp/hojin/it/82-densai/>

以 上